

# トイプードル [イワヤ製] の修理法 (歩くと異音がある)

2019.03.06/2021.08.27 改訂

トミー・マック

## 1. 外 観

ぬいぐるみのタグがないですが、底面に IWAYA の文字とマークがあります。イワヤ(株)製で「トイプードル」で推定2006年頃の商品です。



## 2. 特 徴

トコトコを尻尾をゆらしながら前進し、立ち止まって尻尾を激しく振って鳴き、後ずさりのアクションをする、かわいいトイプードルのあかちゃんです。

## 3. 故 障 (症状)

落としたり、踏みつけられたりして、脚の骨折、また脚のメカの軸が折れることが多いです。今回は、手にもって動かすと正常ですが、床を歩かせるとカタカタと異音を出して歩きます。

## 4. 原因と処置

下記2つの要因により、左後脚の支持がなく無理に脚の往復運動をするので、どこかに擦れて異音があると推測します。

### (1) 左後脚の支持軸の折れ

左後脚の支持軸が折れているので、左後脚の固定がなくなっています。

#### (処置)

折れた左後脚の支持軸の中心をステンレス線で貫き、瞬間接着剤で固定します。

### (2) 駆動部カバーの割れ

樹脂の経年劣化もあり、落とすか踏みつけられて、駆動部ケースの一部割れています。そのため左後脚の支持軸の支えがなくなり、支持軸が折れ易くなっていました。

#### (処置)

割れた駆動部ケースを、一部ステンレス線でステップル状に留め、割れ目をペーパーフキンと重曹と瞬間接着剤で接着固定します。

## 5. 修理経過

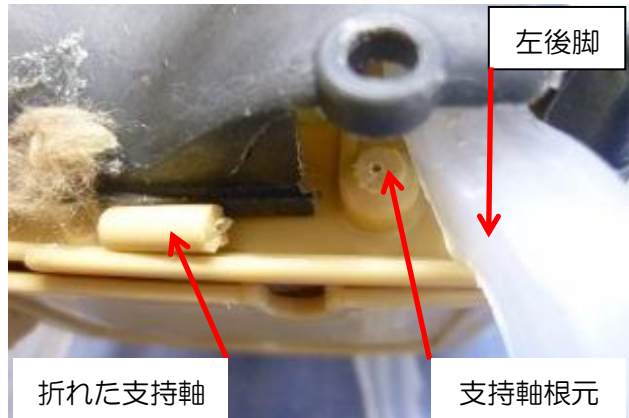
### (1) ぬいぐるみを脱がし頭に巻き付ける

ぬいぐるみを剥がし、脱がしたぬいぐるみを頭に巻き上げるまでは、メカの修理のヒント「[15-1. ワンちゃん\(イワヤ製\)の修理法\(脚など折れ\)](#)」を参照にしてください。

## トイブードル [イワヤ製] の修理法 (歩くと異音がする)

### (2) 故障箇所 (左後脚部近傍) の観察

- 左後脚の支持軸が、根元から折れています。  
折れた支持軸は、ぬいぐるみの中からみつけられました。



- 左後側の駆動部ケースが割れています。



ネジを緩めると、完全に割れています。

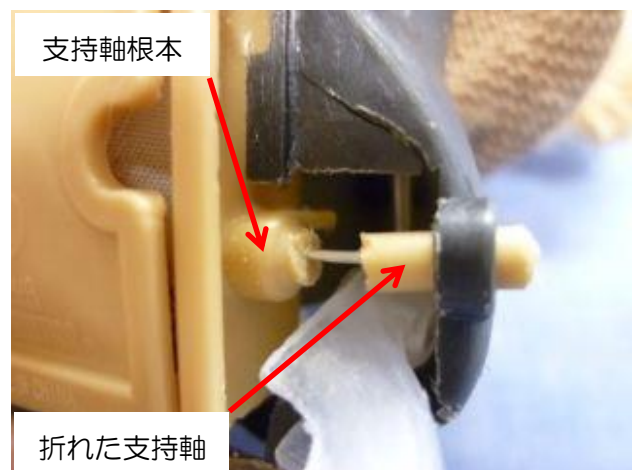


### (3) 左後脚の支持軸の修理

駆動部ケースの部品はぬいぐるみで包まれているので、折れた支持軸は必ずぬいぐるみ内にあります。ぬいぐるみを外す際に折れた部品をなくさないようにします。

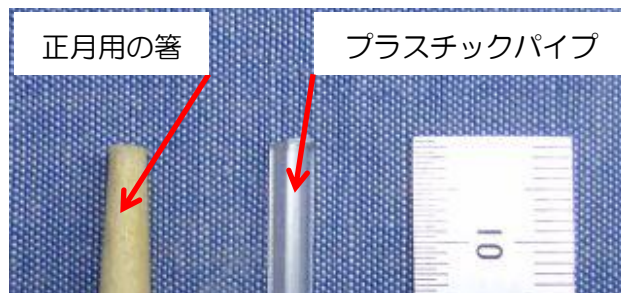
折れた支持軸の中心に、 $\phi 0.9$ mmの孔を支持軸の長さ (7mm) の半分以上の深さで開け、さらに相手側の電池ボックス側の支持軸根元にも $\phi 0.9$ mmの孔を開け、 $\phi 0.9$ mmのステンレス線に接着剤 (PPXなど) を付けて貫通させ接着固定します。

そうすることで、支持軸に左後脚の支持孔を通し、駆動部カバーの支持孔に支持軸を貫くことで、左後脚が完全に固定されます。



## トイブドール [イワヤ製] の修理法 (歩くと異音がする)

万一、折れた支持軸をなくしてしまった場合は、代替え軸として、 $\phi 4\text{mm}$ の正月用の箸やパイプを7mmに切って使います。



### (4) 駆動部カバーの割れ修理

#### (a) ステップル留め



駆動部カバー左の後ろのネジの締結部を持つ部分が割れているので、駆動部カバー左右の後が開かないように固定するため、 $\phi 0.5\text{mm}$ のステンレス線で2カ所をステップル状に留めます。

#### (b) 割れた駆動部カバーの仮留め



割れた駆動部カバーを、ネジ (タッピング2.6 X 5) 1本で丸印部に留め、瞬間接着剤で仮止めします。

#### (c) 駆動部カバーの接着固定

割れた駆動部カバーの修理については、メカの修理のヒント「[15-10. 柴犬コウタロウ \(イワヤ製\) の修理法 \(歩けない\)](#)」にあり、材料としてガラスクロス (ガラス繊維布) と造形補修材を使っています。

もっと手近な材料でガラスクロスの代替えとして、引っ張りに意外と強い「ペーパーフキン (タオル)」や「マスクの生地」などと、造形補修材として「通常の瞬間接着剤」と「重曹」を使用します。



割れた駆動部カバーの割れ目を覆うように、ペーパーフキンを瞬間接着剤で接着し、上に重曹を振り撒きます。

瞬間接着剤が乾いた後、念のため2重に重曹を振って接着します。

これで**修理完了**。

## トイブードル [イワヤ製] の修理法 (歩くと異音がする)

### (5) 元に戻す

#### (a) 左脚の組立て

駆動部カバーの左側が軽く浮くように、ネジ (タッピング2. 6×5) を数本外します。

修理した支持軸に左後脚をいれ、駆動部カバーの左側が軽く浮くように、ネジ (タッピング2. 6×5)。

#### (b) ぬいぐるみの着せから接着

ぬいぐるみを着せ、電池収納部の周囲にホットメルト (グルー) で固定する方法は、一般のイワヤ製のワンちゃんの修理法と同じです。

**完 成**

終わり